



ロシアNIS経済速報

社団法人 ロシアNIS貿易会

2008年（平成20年）6月15日号 No. 1432

目次

■シベリア鉄道の国際コンテナ輸送と鉄道フォワーダー	中居 孝文	1
■トピックス		9
三菱自がロシア合弁工場の起工式／9		
日通がロシアに自社倉庫新設／9		
三菱重工がウクライナから天然ガス用タービン受注／10		
住商と関電がカザフ・ウラン鉱山の開所式に／10		
原子力機構がカザフ原子力委と安全性研究／10		
■エトセトラ		10
ROTOBOロシアセミナーのご案内／10		
■ロシアNIS貿易会関連の行事予定		11
■ロシア・NIS諸国通貨の為替レート		11

シベリア鉄道の国際コンテナ輸送と鉄道フォワーダー

はじめに

近年、日ロ間の経済関係が急速に拡大し、二国間の貨物の荷動きも増大している。他方、それにつれて、日本発の貨物の大半を受け入れてきたサンクトペテルブルグやフィンランドの港湾の処理能力が限界に近づいているとの指摘もあり、代替ルートとして、シベリア鉄道の意義が再評価されつつある。その需要を見据え、2007年にはロシア鉄道の子会社と日本の物流会社の提携も相次いだ。以下では、シベリア鉄道を利用した国際コンテナ輸送の現状とその輸送を担う鉄道フォワーダーを紹介する。

なお、本稿の作成にあたっては、この分野の優れた先行研究である辻久子著『シベリア・ランドブリッジー日ロビジネスの大動脈ー』（成山堂書店、2007年）に多くの示唆を得たことを付記しておきたい。